

No.2375

秋の縦走路を行く 八ヶ岳縦走

実施日 2008年10月25日(土)～26日(日)

天候 曇り/吹雪

リーダー 馬場 清士

参加者 服部美千代、馬場清士、島本
陳重 鈴木政三 計4名

費用 JR8,600円 タクシー 3,890円 権

現小屋 7,800円 計 20,290円

タイム 1日目 小淵沢駅(タクシー 8:55)

観音平(9:15～9:30)押

出川(11:20)編笠山

(13:00～13:10)青年

小屋(13:40～14:00)

権現小屋(15:30)泊

2日目 権現小屋(7:00)旭岳

付近(7:40)権現小屋

(8:20～8:40)三ツ頭

(9:35)天女山(11:20

～11:35 タクシー)延命

の湯(12:10～15:30)

小淵沢駅(16:00)

25日 広い駐車場のある観音平で
タクシーを降りた。編笠山まで標高差
950mの登りだ。

雲海展望台を過ぎ、押出川までは、
樹林帯の中を単調な登りが続き、押出
川からは、かなりきつい最後の登りが

始まる。ぐん

ぐん高度を稼

ぎ、振り返る

と富士山を初

め、南アルプ

スの眺めが素

晴らしい。



編笠山の山頂は溶岩に覆われた広い山

頂だ。北側には、権現岳や阿弥陀岳、
赤岳、横岳見える。

樹林帯から巨岩の斜面を一気に下ると
青年小屋だ。青年小屋から樹林帯に登
り、ギボシにかけて岩山の様相になり、
岩礫斜面に険しい路が続き、ギボシの
巻き道は鎖場の連続でスリル満点だ。

ギボシを越える

と道は穏やかに

なり、やがてラ

ンプの小屋、権

現小屋に着く。



26日 夜中から吹き始めた強風で、
眠れない夜を過ごし、朝起きてみると、
白い物がちらちらと・・・やな感じが
する。好天になることを祈り、7時赤
岳に向け出発する。

権現岳を越えたあたりから、烈風が
吹き始め、雪が激しくなり顔を射す。
旭岳付近の60数段の鉄梯子を降り、暫
く稜線を行ったところで、赤岳への登
りは無理と判断し、来た道を権現小屋
に引き返した。行程を変更し、三ツ頭



から天女山に下

ることにし、権

現小屋で休息の

後、カラマツの

最後の黄葉を見

ながら天女山に

降り、タクシーで小淵沢に向かった。

天気の安定した新緑の時期に再度挑戦

したい。前線真っ只中のなか、思わぬ

吹雪に合い、参加された皆さんご苦労

様でした。

(記&写真・馬場 清士)